

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和2年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原北公園、道保川公園、相模原麻溝公園、相模大野中央公園
指定管理者名	公益財団法人相模原市まち・みどり公社
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。(都市公園法第1条) 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図る。
施設概要	<p>◆相模原北公園(平成3年供用開始)：北部地域における公園緑地の拠点として整備されている。公園内に北総合体育館、多目的広場アジサイ園などがある。</p> <p>◆道保川公園(昭和59年供用開始)：相模原近郊緑地保全地区内に位置し、良好な自然環境を有する風致公園である。自然のなかで、じかに野鳥や植物の観察などを体験しながら、自然への認識を深めることができる。野鳥観察ゾーン・山野草観察ゾーン・森林生態観察ゾーン・水生動植物観察ゾーン等がある。</p> <p>◆相模原麻溝公園(昭和60年供用開始)：北側に県立相模原公園、西側に女子美術大学が隣接し、公園内を横浜水道道が通っている。大花壇、センター広場、芝生広場、グリーンタワー相模原、フィールドアスレチック、多目的広場がある。一部首都圏近郊緑地保全地区指定区域に含まれる。総合公園。</p> <p>◆相模大野中央公園(平成2年供用開始)：小田急線相模大野駅周辺地区に位置しており、買物や、通勤、通学などで中心市街地に集う人々や地域住民の憩いの場を目指している。近隣公園。</p>
施設所管課	公園課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ボランティア参加者数(人)	2,907	3,107	2,834	1,778			

### 3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>S</b>	成果指標であるボランティアの登録人数については目標を達成したが、昨年度よりも減少している。公園運営を円滑に進めていくためにボランティアの力は不可欠なため、新規ボランティアの確保とともに、活動しやすい環境づくり等、継続してボランティア活動に参加できる仕組みづくりを構築することに期待する。緑化活動については昨年度より増加していることから、引き続き活発な活動の継続を期待する。

指標1	
指標名（単位）	ボランティアの全体登録者数(人)
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（単位）	234	250	230	230			
実績値（単位）	292	295	266	260			
達成度（%）	124.8%	118.0%	115.7%	113.0%			

指標2	
指標名（単位）	緑化活動の回数(回)
指標式と指標の説明	達成度＝実績値/目標値

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（単位）			50	50			
実績値（単位）			164	200			
達成度（%）			328.0%	400.0%			

#### 4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	全施設の事業の実施状況は、達成度が「約118%」となるため「A評価」となる。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の定員数や事業自体の中止が多数あった。しかしながら、感染防止対策等について一定のノウハウの蓄積が図られたと思われることから、引き続き新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、感染防止対策などに万全を期した上で、多くの利用者のニーズに応えることができる事業の実施を期待する。

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
ボランティア育成事業(相模原北公園)	通年	園内の除草等をはじめとする植栽管理を市民協働により実施。延べ参加者数974人	◎
アジサイ・ローズフェア(相模原北公園)	6月(中止)	アジサイ、バラをテーマにし、緑化普及を目的としたイベント。新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。	/
オータムフェア(相模原北公園)	10月(中止)	紅葉などの公園見どころを紹介するとともに、緑化普及を目的としたイベント。新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。	/
ボランティア育成事業(道保川公園)	通年	園内の除草等をはじめとする植栽管理を市民協働により実施。延べ参加者数51人	◎
ホタル観賞会(道保川公園)	6月(中止)	ホタルを鑑賞することにより自然に親しむほか、公園の認知度向上を目的としたイベント。新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。	/
ボランティア育成事業(相模原麻溝公園)	通年	園内の除草等をはじめとする植栽管理を市民協働により実施。延べ参加者数753人	◎
クレマチスフェア(相模原麻溝公園)	5月(中止)	クレマチスをテーマにし、緑化普及を目的としたイベント。年1回(2日間)の開催。新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。	/
アジサイフェア(相模原麻溝公園)	6月(中止)	アジサイをテーマにし、緑化普及を目的としたイベント。年1回の開催。新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。	/
オータムフェア(相模原麻溝公園)	10月(中止)	紅葉などの公園の見どころを紹介するとともに、緑化普及を目的としたイベント。新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。	/

#### 自主事業

※実施した事業のみ掲載

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
体験ボランティア(相模原北公園)	7・11月	ボランティア活動を体験し、継続的な活動のきっかけとする。7月は中止。11月は13名参加し、内1名がボランティア加入	○
パークヨガ(相模原北公園)	10月	【新規事業】戸外の開放感を感じながら気持ちよのびのびとヨガを学ぶ事業。公園の有効活用と認知度向上が狙い。9名参加	◎
自然の観察会(道保川公園)	10月	園内の草木や昆虫の種類、特徴などをガイドから説明を受けながら、公園を散策し自然への理解を深める事業。12名参加	△
クリスマスイルミネーション(相模原麻溝公園)	12月	センター広場の花時計にイルミネーションを職員により設置し、寒い冬に彩りを添え、集いの場所を提供する事業。	○
季節の花苗販売(相模原麻溝公園)	11月	来園されたお客様が植物に関心をもつきっかけづくりとして花苗を販売。販売総数2480株	◎

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	全体的な満足度及びスタッフの対応等、高い評価を得ていることは、日頃の指定管理者の努力の成果だと思われる。しかしながら、昨年度より達成度が減少していることから、利用者の意見等を参考に多くの方に満足いただける管理運営を目指して頂きたい。

<b>利用者満足度調査</b>	※実績値は4施設分の平均値
調査手法/サンプル数	聞き取り等によるアンケート集計/年2回/サンプル数 年間600 ※令和2年度は6月実施分を新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。年1回/サンプル数300
目標値の基準	施設を利用した感想として「大変よかった」、「良かった」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0			
実績値（%）	91.0	96.2	95.5	94.8			
達成度（%）	101.1%	106.8%	106.1%	105.3%			

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱の設置	通年	管理事務所前にご意見箱を設置し、お客様のご意見を反映させる公園運営を目指した。回答を希望するお客様には直接回答するとともに、回答を一定期間管理事務所に掲示している。
ホームページの問合せ	通年	来園を検討されているお客様や、対面や電話などでのご意見の受け付けが難しいお客様からホームページから随時ご意見を受け付け、都度Eメールにより回答をしている。
事業毎のアンケート	事業都度	自主事業を実施した際にアンケートを行い、参加されたお客様から事業内容等についてご意見・ご感想をいただき、利用者ニーズの把握に努めた。ご意見は今後の自主事業に反映させ、参加率の向上を図っている。

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	「本体事業収支」は赤字だが、「自主事業収支」及び「全体収支」は黒字となった。今後、更なる施設への還元を期待したい。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
収入 (a)		189,557	186,546	190,276	
	指定管理料	189,557	186,546	188,203	
	利用料金収入	0	0	0	
	その他の収入	0	0	2,073	
支出 (b)		194,040	190,927	196,500	
	人件費	83,252	78,591	80,613	
	本社管理経費	10,882	8,960	10,301	
	その他の支出	99,906	103,376	105,585	
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		-4,483	-4,381	-6,224	
自主事業収入 (d)		12,451	12,959	12,217	
自主事業支出 (e)		2,143	2,409	2,433	
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		10,308	10,550	9,785	
全体収支 【(c)+(f)】		5,825	6,169	3,561	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和2年9月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	加点事由有
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	相模原北公園や相模原麻溝公園といった、草花を鑑賞しに多くの方が来園する公園において、草花に関して専門家とアドバイス契約を締結し、草花の管理運営に生かすことで、多くの方が来園し、満足していただいていることは評価できる。	

## 8 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言の発出等により、イベントや自主事業が中止となるものが多く、当初計画よりも実施数については大幅な減少となってしまった。今後は感染症対策を講じながらの事業実施について検討をしていきたい。保守点検や清掃業務については計画どおりに実施し、また、樹木については、状況を確認し、お客様に危険が及ぶ恐れがある箇所を積極的に剪定することで安全・安心の確保に努めた。また、ボランティア団体とも年間を通じ、感染症対策を講じながら魅力ある公園づくりの実施に向けて取組みを進めることができた。この結果として利用者満足度調査の結果は、目標値の90%を超える高い評価を得ている。収支状況についても、当初の計画になかった修繕や樹木剪定等の予算に充当するなど、積極的な利益還元を努めた。

## 9 所管課意見

計画的な保守点検や清掃業務を行うことで、安全で安心できるきれいな公園を保ち、また、ボランティア団体と協働し、魅力ある公園の管理運営をすることで、来場される方の多くを満足させている点については、大いに評価できる。

今後も、コロナ禍において、新しい生活様式を踏まえた施設利用の中で、柔軟に利用者の意見を取り入れ、更なるサービスの拡充を図るとともに、適切な管理運営をすることで、利用者へ憩いの場を提供できるよう尽力していただきたい。

## 10 選考委員会意見

・成果指標の達成度、事業の実施状況、利用者の満足度が高い評価であること、施設修繕や植物剪定に利益還元したことは高く評価をしたい。

総合評価 (自動判定)

S

(85/100)

